

## トリニダード・トバゴ (TT) 月間情勢報告 (2019年3月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

### 1. 概況

- ローリー首相は、心臓病の検査のため2週間近くカリフォルニアの病院に検査入院したが、手術は必要ないとの結果が出て、安堵と感謝を表明した。
- 今年のカーニバル期間中の重大犯罪件数は減少し、国家安全保障大臣及び警察長官は警察の警備強化の効果と自賛した。
- 当地に来訪した米国専門家が中国との取引には注意するよう警告を発出した。
- トランプ米大統領が一部のカリコム諸国との会談を行ったことに対して、ローリー首相は気にとめないとの反応を示す。

### 2. 内政

- 1日付各紙は、政府は合法、違法を問わず当国に滞在するベネズエラ人にIDカードを発給し、1年間の就労許可を出すことを検討していると報道。
- 4～5日、当地で毎年恒例のカーニバルが開始されたが、警察官を多く動員して警備に当たった結果、ヤング国家安全保障大臣とグリフィス警察長官は期間中の重大犯罪が減少し、近年で最も安全なカーニバルと賞賛した。(7日付報道。)
- 6日、ローリー首相はカリフォルニアの病院に心臓関係の検査のため入院し、13日、心臓病の手術は必要ないとの診断が出て、19日帰国した。
- 11日、トバゴ島で英国人女性観光客2人が襲われる事件が発生、同島で外国人観光客が襲われたのは今年に入り3件目。(13日付報道)
- 24日、当国国防軍参謀総長交代式が行われ、ウィークス大統領他の出席の下行われ、ダニエル新参謀総長(空軍准将)が就任した。
- 27日、新任警察官の任官式が行われ、ヤング国家安全保障大臣、グリフィス警察長官が出席し、汚職対策の重要性を訓示した。(28日付報道)
- 28日付当地紙は、27日までの殺人事件件数は117件と昨年同期の135件より若干下がったものの、依然として多いと報道。
- 31日付各紙は、30日当地郊外で危険運転車両を追跡していた警察車両が一般車両と衝突し、グリフィス警察長官が乗車していた車両が巻き込まれたが、同長官に怪我はなかったと報道。

### 3. 経済

- 1日付当地紙は、サンウイング航空が昨年12月20日からトロント発トバゴ島行き週1便を就航させた結果、12月から1月にかけてのトバゴ島への観光客が5.2%増加したと報じる。
- 1日、当地で開催された2019年北京文化促進イベントに北京市文化観光局長、ミッチェル当国観光大臣が出席し、両国間の観光促進を協議した。(2日付報道。)
- 7日付当地紙は、当国で事業展開する中国企業を取り上げ、中国企業経営者が成功の秘訣は、中国人の高い職業倫理、現地市場への理解、現地労働力の訓練にあると述べたと報道。
- 13日付当地紙は、カーン・エネルギー大臣がベネズエラのドラゴン・ガス田との取引は同国の情勢に関わらず実現すると議会で答弁したと報道。
- 25日付当地紙は、エリス米国防大学戦略研究所カリブ中南米研究教授が当地を訪問し、当国政府は中国との取引の際には慎重であるべきとして、その例として、乾ドック及び工業団地建設案件をあげたと報道。
- 27日、政府は、4月1日から上海で開催されるLNG国際会議及び展示会にカーン・エネルギー大臣が出席すると発表した。
- 30日付当地紙は、インバート財務大臣は経営危機に陥っているLIAT航空が当国路線を停止すれば、国営のカリビアン航空がそれをカバーすると述べたと報道。
- 31日付当地紙は、22日に英国がCARIFORUM諸国9カ国と署名したEPAを当国も署名することを閣議決定したと報道。

### 4. 外交

- 11日付デイリーエクスプレス紙は、昨年の国際協力推進協会（APIC）記者招へいで訪日した同紙記者が執筆した東日本大震災追悼、日本の防災関連記事を掲載した。
- 22日にトランプ米大統領と一部カリコム諸国首脳との会談が行われたことに対してローリー首相は、事前に協議は受けておらず、発表まで知らなかった、当国が無視されたとの批判には与しないと述べた。(22日付及び31日付当地紙報道。)
- 22日、当地の西インド諸島大学において日本映画祭が開催され、日本映画2本が上映された。
- 28～29日、当地に事務局を置くカリブ諸国連合（ACS）閣僚会合及び首脳会合がニカラグアで開催された。
- 29日、当地ガーディアン紙に日本と当国の外交関係55周年を記念する日

本特集記事が掲載された。

※これは、報道等公開情報をまとめたものであり、報道の真偽まで確かめたものではありません。